

平成 24 年版農作業標準料金

福井県農業会議

1. 稲作の場合

単位：円／10 a

作業区分		標準料金	備考
1. 耕起・代かき		12,200	耕起（1回）、代かき作業（2回）
2. 育苗		13,500 675	硬化苗 20 箱使用と仮定。運搬費は含まない 1 箱当たり
3. 田植		6,900	苗代および肥料代は含まない
4. 収穫		14,200	生産物の運搬費は含まない
5. 乾燥・調製	乾燥	8,700 (1,024 円/60kg)	(1) 10 a 当たり収量 生粳 700kg（玄米 510kg）と仮定
	もみ摺	3,400 (400 円/60kg)	(2) 粳水分 24%と仮定
6. 防除		600	2 回防除（3 回のうち 1 回は箱施用）。農薬代は含まない
計		59,500	

作業区分		標準料金	備考
直播	種子 (コーティング代含む)	5,800	播種量は 10 a 当たり 2.5kg(乾粳：コシカ)
	湛水直播	5,800	側条

作業区分		標準料金	備考
〈参考〉	畦塗り (100m当たり)	3,800	
	土壌改良材散布 (10 a 当たり)	1,000	ブロードキャスターの場合 土壌改良材代および、その運搬費は含まない
	畦畔草刈り (10 a 当たり)	1,700	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10a 当たりの畔面積は 1a ・ 圃場は 30a 区画(30m×100m)で、畔面積は 3a（長さ 160m×幅 1.9m）を想定 ・ 草刈り作業は、田植え前から収穫前間に 4 回行うと仮定

2. 麦・大豆作の場合

単位：円／10 a

作業区分	麦	大豆	備考
	標準料金	標準料金	
1. 耕起・播種	5,900	5,300	耕起と播種は同時作業とした 播種はシーダーとした
2. 収穫	11,000	11,000	生産物の運搬費は含まない
3. 溝掘り	3,600	3,600	大豆は単作に適用 ロータリートラクターとした
4. 培土	—	3,700	
5. 防除	500	700	麦 2 回 大豆 3 回
計	21,000	24,300	

作業区分		標準料金	備考
〈参考〉	弾丸暗渠 (10a 当たり)	1,100	サブソイラの場合 30a 圃場で 30m を 33 本、100m を 4 本と仮定

3. 経営規模

福井県の「農業経営基盤の強化の促進に関する基本方針」の経営類型による 15ha (水稲 10.5ha、麦・大豆 4.5ha) 程度の経営規模を想定している。

4. 参 考 〈ソバ作の場合〉

単位：円/10a

作業区分	ソバ	
	実勢	試算値
1. 耕起・播種	7,680	6,262
2. 溝掘り	3,450	3,974
3. 防除	513	228
4. 収穫	8,485	10,863
計	20,128	21,327

※実勢とは、県下でソバ栽培が行われている 13 カ所 (組織・地域) の平均値である。

5. 圃場条件に応じた標準料金の適用

※当指針は、県下一円においておおむね 30a 程度の圃場整備がなされているということ踏まえて標準料金を示している。

※しかし、中山間地等を中心として、未整備田等小区画圃場が依然残されており、作業効率等の面において大きな問題となっている。

※こうしたことから、圃場条件 (面積、形状、土質、倒伏等) に応じた標準料金を下記により示すこととする。

圃場条件	標準料金指針
おおむね 30a 以上	標準料金適用
〃 20a 未満	標準料金に 5～10%加算
〃 10a 未満	〃 10～30%加算

6. 生産物等の運搬費について

生産物や苗等の運搬に要する経費は、この料金に含んでいないので注意を要す。

7. 農作業安全への配慮

農業機械の圃場への運搬・移動は、運搬車で行うなど道路交通法等に配慮し、安全に留意ください。